

会場3-3【長野県】信州大学教育学部附属長野小学校 発表を見た方からの感想

- 土粘土づくりから、土器づくりまでを5年生になるまでの間で学び、野焼き・ドラム缶焼き・七輪焼などさまざまな方法で焼きを行ってそれぞれの特徴を学んでいるうえに、真田宝物館やあまかざり工房まで行って、よく調査したうえで土器づくりをしているところに感心しました。今後も、今回のように一つ一つの学びを大切に、学びを深めていってください。ありがとうございました。
- 粘土の作り方なんて初めて知ったので良い勉強にさせていただきました！土器を作りで縄文人を越えようという発想も面白くて、七輪焼やドラム缶焼といった現代人の技術を駆使して完璧な土器を造ろうとしている点も、ユーモアがあって発表を見ていて楽しかったです。
- 自分たちで土器を作る活動を通して、土器の歴史にも触れつつ学習に取り組めたのかと思います。実際に自分たちで作るのは大変だったと思いますが、自分で作ったものは思い入れもあり、ものを大切にする気持ちを育むこともできたのではないかと思います。
- それぞれの班ごとに、土器や釉薬を作る過程や歴史、作った結果や感じたことがわかりやすくまとめられていました。実際に見たり作ったりすることで、教科書以上の学びにつながっていたと思います。過去の様子を知り、現代を見つめると、また新たな発見や見方につながります。これからも、何事も積極的に取り組んでみてください。
- 野焼きをしたことがないので作り方や準備の工程、土の素材など初めて知ることが多くて勉強になりました。ろくろの製作も面白かったです。メリットやデメリットも記載されており、ろくろの難しさや手で作った時との違いなどが分かりやすかったです。
- 発表ありがとうございました。多くのグループに分かれており、体験を通して得た学びを全体で共有することによってより広い学びに繋がると思いました。今後はそれぞれが体験したことを教え合いながらみんなで体験してみるなどするとより面白いと思います。今後もより広くより深く学習に励んでいってください。
- 粘土から土器を作るといっても、作り方や焼き方は一つではなく、たくさんの方で試しているのが面白いと思いました。ドラム缶焼きは初めて聞きました。それぞれでわれやすさや色が変わり、その変化にも気づくことができているのがいいと思いました。土器づくりには様々な工程があり、その工程一つ一つに意味があることが分かりました。発表ありがとうございました。
- 「私の土器づくり」ということで、自分たちの学校の土から粘土をとる（材料を集める）ことに驚きました。釉薬についても、自分たちで釉薬のぬり比べをしてどの釉薬が良いか調べている姿がとても素晴らしいかったです。みなさんは縄文人を超えたと思います。
- 土器作りという体験を通じて、一つひとつ時間をかけて丁寧に作ることの重要さに気づいたり、歴史の視点から土器の意味やすごさを見つけていたりしたところが、とても良いと思いました。普段は物を完

成した状態で買う私たちですが、自分たちで土器を作ることを通じて、物作りの大変さや尊さを感じ取れたのではないかと思います。また、今回の土器で言えば、どうして土器はその材料や形で作られるようになったのか、その原因や歴史を調べ考えてみるのも面白いのではないかと思います。

- 縄文土器をまねて作ってみたからこそできた疑問や課題、解決方法になりえることはどんなものか考えながら行った活動は、とても良い活動だったと思います。焼き方に野焼き、七輪焼き、ドラム缶焼きの種類があることを初めて知りました。3種類の焼き方を経験することによって、焼き方の違いで土器に与える影響など実際に自分たちが体験してきたことを言語化しよくまとめられていたと感じました。
- 素敵な発表ありがとうございました。学校の土から土器を作るために時間をかけ、思いのこもった土器を作り上げる津堅がとても印象的で、素敵でした。土器の形にするのが難しく、縄文人のすごさに気づく中で、コップを使ったり、様々な焼き方を使って工夫したりすることで、自分たちの手で土器を作り上げることができましたね。また、電道ろくろを使ったり、釉薬を使って色をだしたりするなど、土器づくりの中でたくさんの工夫を行い、新しい発見がたくさんできましたね。釉薬を使うとどんな色が出てどの色は難しいのか、それはどうしてなのか考えていけると面白いかもしれませんね。
- 発表ありがとうございました。土器を自分たちでつくろうという発想がまずすごいなと感心しました。土器づくりの内容を見ても、ろくろを使って形を作り、野焼きで焼く、また釉薬も自分たちで作る、さまざまなものを試してみるなどとても本格的で大層来しました。私は社会科の教員となるのですが、このような活動をして当時の人々の思いを考えることはとても大切でさまざまなことを学べるのではないかと思います。
- 発表ありがとうございました。土器を焼く活動の中で使う土や焼き方を複数の方法で行い比較したことがとても良いと思いました。実際に自分で作り、目で結果を見たことは一生忘れない思い出になると思います。最後に焼き方や使う土の種類によって違いが生まれていましたがなぜその違いが生まれるのかを考えてみても面白いと思います。
- 粘土から土器を作るといっても、作り方や焼き方は一つではなく、たくさんの方法で試しているのが面白いと思いました。ドラム缶焼きは初めて聞きました。それぞれでわれやすさや色が変わり、その変化にも気づくことができているのがいいと思いました。土器づくりには様々な工程があり、その工程一つ一つに意味があることが分かりました。発表ありがとうございました。
- 「縄文人って天才!？」という言葉が出てきたのがとてもすごいなと思いました。簡単にできそう、というようなところでも、実際にやってみると難しく、そしてそれができる人を尊敬するというのは勉強の本質だと思うからです。これからも頑張ってください。
- 土から作るなんてすごいと思いました。高温で焼くのがいいと思っていましたが、そういうわけではないのだと勉強になりました。自分たちで作った経験から、職人さんのすごさが分かるのだろうなと思いました。ぜひ皆さんがろくろを使っている映像があったら見たいと思いました。釉薬作りについても、灰の割合を変えて実験的に試しているところがいいと思いました。写真もあり分かりやすかったです。

- 土器づくりのやりかたや、土器をつくってみた感想など発表からたくさん分かることがあり、よかったです。手回しろくろでは、色々な形のものをつくっていて面白そうだなと思いました。野焼き、七輪焼、ドラム缶焼きという焼き方は初めて聞きましたが、分かりやすい説明でますます興味が湧きました。それぞれの違いや、学んだことがあり、よかったと思いました。松代見学からも分かることがたくさんあり、よかったと思います。
- 土器を通じて、みんなで協力する力や自然を楽しむ気持ちが磨かれているなどと思いました。またそこから歴史の勉強や理科の勉強につなげているのがわかりました。実際の様子の写真から自然と触れ合いながら学んでいることがわかり良いなどと思いました。どの班もスライドがとても見やすく、普段から PC を使った学習をしているのだろうと感じました。
- 縄文土器をあえて今再現するというのはとても斬新な発表だったと思います。その作り方も、太古から使われてきたろくろを使ったり、今ならではの紙コップやいろいろな道具を使ったりなど、いろいろな作り方が見られてとっても面白かったです。土器が初めて作られた縄文から今にいたるまでどのように使われてきたのかもわかり、とても勉強になりました。しかも自分たちで塗装までして高クオリティなものを目指しているのが良くわかりました。とっても面白い発表でした。
- 野焼きで土器を焼いたり、ろくろを使って土器づくりをしたりしている取り組みが非常に印象的でした。いずれの取り組みにおいても、自分たちなりに工夫をして行っている姿が凄いいました。釉薬を作る取り組みにおいて、配合を調整しながら試行錯誤する姿から、自分で問題解決をすることの大切さを学ばされました。
- スライドの見やすさ、わかりやすさが流石六年生、といったクオリティでした。内容ごとに発表者、スライドが分かれているという工夫も見られました。こういった工夫が理解のしやすさを高めているのだなと感じました。土器づくりに関して、多くの側面から調べられていて、良かったです。大学生の僕から見ても知らないことばかりでした。
- 土粘土に着目し、土器を作るために試行錯誤しているのが良い経験だと思った。様々なタイプの焼き方で比較して、その違いを考察し、どのようにすれば一番きれいに焼けるかを考えられているところが素晴らしいと思った。何も知らない状態でいろいろ試してみることも大切だが、しっかりと土器の歴史を学んで気づきを得たうえで、土器づくりに臨もうとする姿勢はもっと良いと思う。
- 学校の土から土器を作れることにまずびっくりしました。そして想像以上に綺麗な土器ができていて、皆さんの懸命の努力や土器作りに対する熱意を感じました。時間をかけて丁寧に作ることで良い作品ができることを皆さんから学びました。自分でつくった土器で飲んだ水は格別でしたね。
- 釉薬は、科学反応で化学の要素があったり、割合計算で算数を使ったり、いつもみんなが学習していることが活かされていますね。理想の色の釉薬を作れるように頑張ってください。